



医療者のための

つくばノンテク道場

チームを作る

自分を知る

人と関わる

チームを動かす

人を育てる

目的別を選ぶプログラム

チームの活性化に!

業務の効率化に!

～なぜ、今、ノンテクニカルスキル?～

急速な高齢化を迎える我が国の医療現場において、多様な健康問題に柔軟に対応し、多職種が緊密に連携して包括的なケアを提供することが求められています。

そのために、医療者には、専門性の高い臨床能力である「テクニカルスキル」はもちろんのこと、組織人として、リーダーシップ、コミュニケーション能力、そして人材育成力など、周囲と協調しながら組織を作り上げてそれを発展させていく能力である「ノンテクニカルスキル」も兼ね備えることが求められます。

しかしながら、医療界ではこれまで、テクニカルスキルの修得に重点が置かれ、ノンテクニカルスキルに関する体系的な教育はほとんど行われず、個人の経験に頼っていたのが実情でした。そこで、本院では、文部科学省の補助事業を基盤として、医療者に特化し短時間で効果的に学ぶことができるノンテクニカルスキル研修プログラムを開発しました。

本プログラムを受講することで、業務の改善・効率化を図り、より効果的なチーム医療を実践できるようになることを目標としています。

医療に関わる多くの方々のご参加をお待ちしています。



IMAGINE THE FUTURE.



詳しくはこちらから



つくばノンテク道場



<https://www.hosp.tsukuba.ac.jp/nontech/>

お申込み



上記ホームページからお申込み下さい。

対象者：医療機関・福祉施設等に勤務している方
(事務職含む)

受講料：1コース ¥15,000円(税別)

※筑波大学教職員(学生・レジデント含む)は、無料です。

お問い合わせ

筑波大学附属病院 総合臨床教育センター

担当(研修コーディネーター 坂口)

Tel 029-853-3339

E-mail mirai.iry@un.tsukuba.ac.jp



IMAGINE THE FUTURE.



プログラム一覧

2019年度



つくばノンテク道場のプログラムをまとめた書籍が出版されました。
「医師のための ノンテク仕事術」 前野哲博 編
羊土社 ■ ISBN978-4-7581-1792-0

開催日	テーマ別/コース名
09/01 (日)	チームをつくる リーダーシップ・チームビルディング -メンバーの協働を引き出すチームを作る-
09/22 (日)	人を育てる TEAMS-BI (仕事の教え方) -効果的な教え方・指導の仕方を習得する-
10/06 (日)	チームを動かす ミーティングファシリテーション -無駄な会議を生産的に変える-
11/03 (日)	チームを動かす TEAMS-BP (業務の改善の仕方) -業務を「見える化」して、改善のポイントを探る-
11/17 (日)	チームを動かす TEAMS-BR (人への接し方) -人との関係をよくし、職場環境を改善する-
12/01 (日)	チームを動かす 問題解決(1) -ロジカル思考で原因の所在を突き止める-
12/15 (日)	チームを動かす 問題解決(2) -システム思考で問題を俯瞰的に捉える-
01/26 (日)	人を育てる コーチング&人材育成 -面談を通してメンバーの学習と成長を支援する-
02/08 (土)	人と関わる コンフリクト・マネジメント -協動的アプローチで、相手と合意形成する-
02/09 (日)	自分を知る MBTI: 自分の心を理解する -タイプダイナミクス&コミュニケーション-

※時間: 9時~17時 (予定) 2019年3月19日現在

IMAGINE THE FUTURE.



研修目標	参加者の声
自己理解を深め、自分の持ち味を発揮できるリーダーシップスタイルを見出す。チームの成り立ちについて理解を深め、チームのポテンシャルを引き出していくためのマネジメントのポイントを体感的に理解する。	■リーダーだけでなく全てのメンバーがこの視点を持つことで、建設的な話し合いに時間を必要性を感じた (看護師)
正確・安全・良心的に仕事をできるように速く覚えさせるために、業務内容を言語化し決まったメソッドに従った合理的な手順で教えることを学ぶ。後進や医療チームのメンバーの日々の指導に生かすことを目指す。	■教え方に4段階あることに気づき、わかったと、わかるまでの重要性を感じ、明日から実践したい (理学療法士)
医療チームにおけるミーティングを活性化させ、会議の質と効率を向上させるための、会議ファシリテーションの実践的スキルを学ぶ。	■目的・目標にたちかえることの重要性に気づけた。カンファレンスで活用してみたい (医師)
業務内容を細分化・簡素化し、順序を変えたり、組合せを工夫したりして、効率的・効果的に改善する方法を修得する。作業分解シートを用いて日常の業務をふりかえり改善する演習を通して、チームで協力して行う業務改善も体験する。	■細目毎に自問することで、取り去り、結合し、組み替え、簡単にする、新方法を知った (看護師)
職場の人間関係に関する課題に関して事実分析を行い、良い判断を下して解決を行う方法を習得する。	■監督者は部下の成長を通して成果を挙げることを意識し、部下を個人として取り扱う重要性を感じた (医師)
問題を「ロジカル思考」を使って要素分解するための方法を学び、問題の基本ステップを意識して効果的な解決策を考えられるようになる。	■自分が普段どれだけ問題に対し howから考えてしまっているかがわかった (薬剤師)
複雑性の高い状況を、「システム思考」の考え方をを用いて、原因構造や下層にあるメンタルモデルを紐解き、少ない力で高い成果をあげるようなレバレッジの高い解決策を見出すための手法を学ぶ。	■問題があると感じた時に、どこに何があるのか、はっきりさせ共有することが大切と感じた (看護師)
部下の学習と成長を支援するためのコーチングスキルをロールプレイ中心に学ぶ。基本的なエンパワメントの方法を知ることにより、後輩や部下の自発的な成長を促し教育効果を高める力を身に付ける。	■快適空間と挑戦空間の間にエッジがあること、それを越え一歩踏み出すサポートがコーチングと感じた (事務)
チーム医療における意見の葛藤や対立を「チャンス」ととらえ、双方が納得できるような合意形成を導くための方法について学ぶ。	■教えてもらった説得、回避、妥協、順応、協働を日常の整理になりました。意識して取り組みます (医事課)
ユングのタイプ論をもとにして開発されたMBTI (Myers-Briggs Type Indicator)の自己分析メソッドを活用。自分に対する理解を客観的に深めていながら、自分の強みや弱みを認識し、自分の持ち味を組織で発揮していくヒントを得る。	■コミュニケーションが大切な職業なのでスタッフ、患者さんとの日常のやりとりには是非参考にさせていただきます (看護師)

IMAGINE THE FUTURE.